

平成25年度 豊橋文学めぐり
いしぶみに見る豊橋・田原市域の文学と歴史めぐり

内 容	芭蕉の「笈の小文」の足跡や渡邊華山自刃碑、万葉集歌碑、島崎藤村詩碑、そして安政地震の爪痕を講師の解説を聞きながらたずねました。
開催日時	平成25年11月13日(水) 午前9時～午後4時
講 師	鈴木源一郎さん(兎頭神社宮司・NHK文化センター講師)
参加人数	22名

当日は、風こそ冷たく感じましたが、好天に恵まれ青空が眩しい一日となりました。春には、「民話」をテーマに開催しましたが、秋は豊橋市や東三河にある文学ゆかりの地や遺跡、文学碑等を訪れ、講師の解説を聞きながら郷土の歴史や文学を学ぶ講座です。今回も定員を大きく上回る申込みがあり、参加者を抽選により決定させていただきました。

「笈の小文」は芭蕉の俳諧紀行で、旅の途中、吉田(豊橋)を経由し、保美(田原市)に隠棲していた愛弟子の杜国をたずねています。湊町神明社(豊橋市船町)、老津公園(豊橋市老津町)、龍泉寺(田原市新町)、潮音寺(田原市福江町)、杜国隠棲地跡(田原市保美町)等の芭蕉の句碑について鈴木先生に解説していただきました。



湊町神明社



潮音寺

渡邊華山自刃碑の池ノ原公園(田原市田原町)、そして龍泉寺の近くにある城宝寺には華山の句碑やお墓がある事を解説していただき、参加者の方々の希望で当初予定にはなかった城宝寺をたずねることになり、皆さん熱心に耳を傾けていました。

島崎藤村詩碑(田原市日出町)の前では、程良い風と波の音に誘われて「名も知らぬ遠き島より流れ寄る椰子の実一つ～」と思わず口ずさんでしまいました。



池ノ原公園



島崎藤村詩碑

最後に、伊古部町のささゆりの里の中にある安政地震石碑を訪れました。甚大な被害を受けた先祖が二度とこのようなことが起きないようにとの思いを込めて建立されたのだと思います。



安政地震石碑

またバスの中では、伊良湖岬にある万葉集歌碑や全国海洋戦没者慰霊碑、沿道の歴史等様々な解説もしていただき、内容の濃い講座となりました。

参加者の方々からは次のような感想をいただきました。

- ・いつも通り過ぎてしまっている所にたくさん見るべき所があるのに「目から鱗」でした。
- ・長く豊橋に住んでいますが、今回初めて行った所もあり感激です。時間をかけて今度は友人とまわってみたいです。
- ・郷土についてもっと知りたくなりました。
- ・鈴木先生の説明がわかりやすく、特に芭蕉の句に興味を持ちました。

来年度以降も楽しみながら郷土の歴史や文学を学べる講座を企画していきたいと思います。また、多くの方々のご参加をお待ちしています。